



三省堂 高校教科書ウェブサイトのご案内



令和8年度用教科書の特設ページを展開!

各教科書の特色紹介、紙面ダイジェスト、
指導用データサンプルなどの各種資料を掲載。
QRコードコンテンツの体験版も公開しています。

追加資料も順次更新予定!

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/hspr/>



三省堂 高等学校国語教科書

生徒用教材ダイジェスト

- 精選 現代の国語 学習課題ノート p.1
- 新 現代の国語 学習課題ノート p.9
- 精選 言語文化 学習課題ノート p.19
- 新 言語文化 学習課題ノート p.27

※Web版サンプルには、解答・解説は掲載されていません。



〒102-8371
東京都千代田区麴町5-7-2
TEL.03-3230-9411

公式X @sanseido_kokugo

三省堂 教科書 検索



三省堂教科書・教材サイト

<https://tb.sanseido.co.jp>

※この資料は一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。
※紙面・内容は2025年4月現在（編集中）のものであり、今後変更となる場合があります。

※QRコードは胸デンソーウェブの登録商標です。
※Google, Googleロゴ, Googleアカウント, GoogleフォームおよびGoogleフォームロゴ, GoogleドライブおよびGoogleドライブロゴは, Google LLCの商標または登録商標です。

水の東西 …… 山崎正和

▼比較することで文化の特徴を明らかにする論理展開の仕方を理解する

検印

漢字・語句を確認しよう

【知識・技能】

1 次の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 一端	② 跳ねる	ねる
③ 静寂	④ 素朴	
⑤ 華やか	⑥ 凝らす	らす
⑦ 郊外	⑧ 乏しい	しい
⑨ 乾く	⑩ 間隙	
⑪ 鑑賞	⑫ 極致	

知識・技能に関する能力を確かめる問題です。

2 次の——線部のカタカナを漢字で書きなさい。

① 床がカタムク	② ユルやかな坂
③ トロウに終わる	④ オンキョウ設備
⑤ 自己シヨウカイ	⑥ イソガしい毎日
⑦ 長いカンカク	⑧ マドを開ける
⑨ 動物のムレ	⑩ 庭をウめつくす
⑪ ジュモクが茂る	⑫ 料理のソえ物

3 次の語句を使って短文を作りなさい。

① いやがうえにも	② 息をのむ
③ ソウダイな夢	④ ヌれ動く
⑤ デントウ芸能	⑥ タキを見上げる
⑦ 池をホる	⑧ ネンド細工
⑨ 調査タイシヨウ	⑩ 反則コウイ

4 次の語の対義語を書きなさい。

① 緊張	② 単純
③ 無限	④ 有名
⑤ 自然	⑥ 受動的
⑦ 積極的	⑧ 間接

教材の基本構造を押さえます。

流れを感じさせる水 (初め〜33・9)	① 限に繰り返し、流れをせき止めることによつて、かえって②の存在を強調している。
空間に静止する水 (33・10〜35・4)	欧米にはいたるところに③あり、その大きくて立派な④は、彫刻のように空間に静止しているように見えた。
日本人の感性 (35・5〜36・5)	日本人は、水は⑤なく、⑥を美しいと感じていたため、日本の伝統には噴水がなかった。「行雲流水」という思想は、流れる水のよ⑦な⑧の現れである。
「鹿おどし」が表すもの (36・6〜終わり)	⑧が大切なのだとしたら、もはや水を見る必要さえない。断続する音の響きから、心で味わえばよい。「鹿おどし」は、日本人が⑨の極致を表す仕掛けといえる。

全体の構成を理解しよう

次の空欄に本文中の言葉を入れ、全体の構成を理解しよう。

文章の理解を深めよう

1 「なんとなく人生のけだるさのようなものを感じる」(32・1)とあるが、その感情は「鹿おどし」のどのようなことから生じるのか。本文中からあてはまる部分を二箇所抜き出しなさい。

_____	_____
_____	_____

2 「こおんと、くぐもった優しい音」(32・5)について、次の問いに答えなさい。

① これはどのような音を表現しているか。適切なものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 金属的で、甲高い響きの強い音。
 イ 不鮮明で、余韻のある穏やかな音。
 ウ 反響は鋭く乾いているが、弱い音。
 エ 高低の音域が広い、しとやかな音。

教科書の手引きとも連動した設問で読解を確かなものにします。

② これを他のところでは何と言い換えているか。本文中から二箇所抜き出しなさい。

_____	_____
_____	_____

③ この音は何を強調するのか。本文中から十字で抜き出しなさい。

_____	_____	_____	_____	_____	_____
-------	-------	-------	-------	-------	-------

届く言葉、届かない言葉

わかり合う

全体の構成を理解しよう

はじめに教材の全体像を捉えてから詳細な読みに移行します

教科書 P22~P27
わしだきよかす
鷺田清一

目標

●情報を要約する

知識・技能に関する能力を確かめます。

検印

漢字を確認しよう

1 次の線部の漢字は読みを、片仮名は漢字を書きなさい。

- ① 耳鼻咽喉科の医院。
- ② カンジヤを診察する。
- ③ 偏りをなくす。
- ④ 歯の治療に通う。
- ⑤ 隣の子ども。
- ⑥ マクラのもとに本を置く。
- ⑦ 声にヨクヨウがある。
- ⑧ 緩急のある声。
- ⑨ ダレよりも努力する。
- ⑩ ビンカンに反応する。

母親に絵本を読んでもらう子ども (初め〜24・11)	【事例】・絵本をおねだりしながらも、気がよそに行っている子ども。 ↓聞く気がないのでせがむ子どもは、いったい何を求めているのか。 【筆者の考え】 ○母親の声が自分に向けられていることが重要。 ○自分が母親の意識の宛先になっていたい。
子どもが朗読に求めるもの (24・12〜25・11)	【事例】・子どもたちに聞かせるために朗読の練習に通う中高年の方たち。 ↓気持ちはわからないでもないが、引っかかる。 【筆者の考え】×練習した朗読の声≠不特定の人に向けられた声。 ○子どもが朗読に求めるもの≠自分が誰かに大切にされていると感じさせるもの。
人が〈私〉になるには (25・12〜終わり)	【事例】・学校に行くようになった子どもに、親がかかる言葉。 ×社会の〈標準〉という枠組みの中で語りだされる声。 【筆者の考え】 ○もっぱら私のみを宛先としている声。↓私が〈私〉でいられる。

文章の理解を深めよう

事例と考えとを区別しながら、要旨を把握する。

教材の目標を確かめることで読むべき内容を明確化しています。

1 教科書22ページ〜24ページ11行めまでを読んで、取り上げている事実についての、筆者の考えを捉えよう。

1 「歯科医院」(22・1)とあるが、筆者は歯科医院にどのような特徴があると捉えているか。次の空欄にあてはまる語句を本文中から抜き出さなさい。

一般の病院と違って

_____ という特徴。

2 「ささやかな愉しみ」(22・5)とはどんなことか。次の空欄にあてはまる語句を本文中から抜き出さなさい。

3 「ほほえましい光景」(22・6)について、次の問いに答えなさい。
① 「ほほえましい光景」とは、どのような光景か。次の空欄にあてはまる語句を本文中から抜き出さなさい。

2 「ほほえましい光景」から幼児のどんな行動に着目したのか。本文中から一文で抜き出し、初めの五字を記しなさい。

3 ②の事例からどんな疑問を提示しているか。一文で抜き出し、初めの五字を記しなさい。

4 ③の疑問についての筆者の考えと合うものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 母親が読む絵本の絵に心ひかれているのではなく、物語がどう展開するかに興味があるのだろう。
- イ 母親が読む絵本の物語に興味があるのではなく、母親が自分だけに語りかけているという状況そのものを求めているのだろう。
- ウ 母親が読む絵本の中身が重要なのではなく、おもちゃで遊ぶ隣の子どもに対して自分も何かしていなければ落ち着かないのだろう。
- エ 母親が読む絵本に興味があるのではなく、膝の上におとなしく乗っている間、何かで気を紛らわす必要があるのだろう。

教材の記述と構造を確かめつつ スモールステップで進む構成です。

4 教科書22ページ〜24ページ11行めの五段落を、①主に事例を述べている段落と、②主に考えを述べている段落とに分けて、次の空欄に漢数字で記しなさい。

- ① 主に事例を述べている段落：第 段落
- ② 主に考えを述べている段落：第 段落

2 教科書24ページ12行め〜25ページ11行めまでを読んで、二つの声の対比から筆者の考えを捉えよう。

- 1 「よどみない朗読」(25・1)と「子どもが朗読に求める」(25・9)ものとを次の表にまとめた。空欄にあてはまる語句を本文中から抜き出しなさい。

「よどみない朗読」	「子どもが朗読に求める」もの
① <input type="text"/> の 人に向けられた声 = <input type="text"/>	読み慣れない本を、無理して、眠たいのを我慢して、 ② <input type="text"/> のために 読んでくれる。 ③ <input type="text"/>
誰が聞いても耳あたりのよい声。	② <input type="text"/> に向けられているという状況自体が <input type="text"/> 。

- 2 「子どもは望んでいる」(25・11)とあるが、どのようなことを望んでいるのか。本文中から二十二字で抜き出しなさい。
- 3 本文の内容を説明している次の文のうち、適切でないものを選び、記号で答えなさい。
ア アナウンサーの朗読は、不特定多数の人々に向けられていて、よどみがない。
イ 語り聞かせのボランティアの朗読は、優れているかもしれないが、子どもの心にはあまり響かない。
ウ 母親が子どものためにする朗読は、技術的に低くても子どもの心に届く。
エ 母親の朗読では、技術的に低いので、不特定多数の人々の心には届かない。
- 3 教科書25ページ12行め〜26ページまでを読んで、要旨を捉えよう。
1 「親の声が、社会のいちばん前の声に変わってくる」(25・12)について、次の問いに答えなさい。
① 「親の声が、社会のいちばん前の声に変わってくる」きっかけは何か。次の空欄にあてはまる語句を本文中から抜き出しなさい。

② 「社会のいちばん前の声」の具体例を次のようにまとめた。空欄にあてはまる語句を本文中から抜き出しなさい。(記号も一字に数える。)

子どもが 。

・「ちゃんと宿題したら〜あげますからね。」
「」

人に を問う声

・「あそこのお家の〇△△やっているよ。」

③ 「社会のいちばん前の声」とはどのようなものか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 子どもを敵とみなし、攻撃しようとする言葉。
- イ 親子の情愛を排除し、子どもを突き放す言葉。
- ウ 子どもを、社会的な評価の上で捉える言葉。
- エ 社会的な批判の先頭に子どもを追いやる言葉。

大学入学共通テストを意識した
選択問題を適宜設定しています。

- 2 「人はまぎれもない〈私〉になる」(26・7)の〈私〉とはどのような「私」か。次の中から選び、記号で答えなさい。
ア 他人にはないものをつだけもっている「私」。
イ 社会の〈標準〉に達していないところのない「私」。
ウ 無条件に認められ、他とは交換できない存在である「私」。
エ 両親にとっての子どもである「私」。

4 本文の内容を捉えよう。 **難**

- 1 本文の内容に合うものを次の中から二つを選び、記号で答えなさい。
ア 互いに気づかい合い、関心をもち合うことで、私たちは自身身でいられる。
イ 私たちは大人になるにつれて、互いに気づかい合い、関心を持ち合うことを忘れてしまう。
ウ 条件を達成し、社会の中で認められると、自分の存在に自信もてるようになる。
エ 自分だけに向けられる、自分を気づかってくれる言葉は、大人にも子どもにも届く。
オ 不特定の人や社会からの声に惑わされずに、自分自身の声に耳を傾けることが大切である。

情報はつくられる

確かな情報を伝える

学習活動に取り組みよう

教科書 P.44 ~ P.45

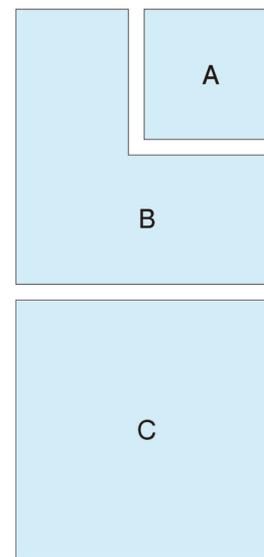
目標

● 情報を吟味する

検印

活動や思考のヒントになるアドバイスが適宜掲載されています。

- 1 「情報はつくられる」とはどのようなことか、説明しよう。
- 1 44 ページの三枚の写真は何を撮影したものか、考えたことを下の空欄に書こう。



Aの写真は、ちやうど暗く見えてしまっているけれど、南米大陸みたいだ。とてっきり明るくなっているのは、どうしてかな。



Bの写真も下の半分が明るくなっている、煙のようなものが上がっているみたい。写真の並び方を見ると、Aの写真とは何か関係があるのかなあ。



写真C 写真B 写真A

教科書の学習活動と連動してワークシーとして使うことができます。

- 2 A～Cの三枚の写真全体を見て、気づいたことや考えたことをあらば書こう。

- 3 45 ページの「情報はつくられる」を読み、それぞれの写真は何を撮影したものか確かめよう。

写真C

写真B

写真A

学習の目標を振り返ろう

写真だけを見て考えたことと実際の写真に関する情報とを比べて、気づいたことや考えたことを書こう。

Cの写真は、どうしても嘆き悲しんでいるように見えるのだけど……。よく調べずに印象だけで判断してしまうと、誤った情報を広めることに手を貸すことになりかねないということが。



写真は何も言わないから、いろいろな想像をかき立てられる余地があって、見る人によって印象が変わって見えるのかもしれないよ。



羅生門 …… 芥川龍之介

▼作品の構成、場面や状況における登場人物の心情を適切に読み取る

漢字・語句を確認しよう

【知識・技能】

1 次の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 剥げる	る	② 顧みる	みる
③ 頬		④ 衰微	
⑤ 楼		⑥ 無造作	
⑦ 臭気		⑧ 嗅覚	
⑨ 暫時		⑩ 挿す	
⑪ 語弊		⑫ 塞ぐ	
⑬ 罵る		⑭ 成就	
⑮ 侮蔑		⑯ 恨む	

知識・技能に関する能力を確かめるところから始めています。

2 次の——線部のカタカナを漢字で書きなさい。

① シリもちをつく	② 戦争のヨハ
③ タイギな仕事	④ 将来のウレエ
⑤ 動物のシガイ	⑥ 手で鼻をオオウ
⑦ ヤせた老婆	⑧ オオマタで歩く

3 次の語句を使って短文を作りなさい。

① 途方に暮れる	⑨ ノドが乾く
② かたをつける	⑩ エリ髪をつかむ
③ たかをくくる	⑪ 手荒くケ倒す
④ 未練	⑫ ワキに抱える
⑤ 成就	
⑥ 念を押す	

全体の構成を理解しよう

次の空欄に本文中の言葉を入れ、全体の構成を理解しよう。

教材の基本構造を押さえます。

〈悪〉の道に足を踏み出せない下人 (初め〜209・3)	主人から「①」を出された下人は、自身の身の振り方に悩んでいる。「②」は選んでいられないが、「③」になるより外にしかたがない。「④」ということを積極的に肯定するだけの「④」はない。
〈悪〉の行為を憎悪する下人 (209・4〜211・16)	死骸の髪の毛を抜く老婆を見た下人は、老婆に対する「⑤」を覚える。下人は、老婆の行為を悪と感じた。
〈悪〉の存在を懲らしめる下人 (212・1〜214・12)	老婆をねじ倒して太刀を突きつけた下人は、その生死が「⑥」に支配されていることを意識する。下人の心には、「⑦」が生まれた。「⑧」と「⑥」が生まれた。
〈悪〉の道に足を踏み入れた下人 (214・13〜終わり)	老婆の話聞いていた下人の心に、ある「④」が生まれ、老婆の着物を剥ぎ取った。そして下人は、「⑨」へ駆け下りた。

文章の理解を深めよう

1 物語の時代、季節、時刻について、どのようなことがわかるか。次の空欄にあてはまる言葉を、①〜③・⑤・⑥は本文中から抜き出し、④は考えて書きなさい。

- 時代：「①」や「椀烏帽子」という当時の風物と、「②」の下人」という描写から、平安時代であることがわかる。
- 季節：「③」が一匹止まっている「夕冷えのする京都は、もう火桶が欲しいほどの寒さである」から、季節は「④」とわかる。時刻：「ある日の⑤」とあり、「⑥」から降りだした雨「夕間はしだいに」などから、日暮れ時であることがわかる。

①	②	③	④	⑤	⑥
---	---	---	---	---	---

2 当時、羅生門はどのような状態となっているか。次の空欄にあてはまる言葉を、本文中から抜き出しなさい。

- 羅生門は、「①」の南端にある平安京の正門で、「②」を必要としたが誰も顧みなかった。そのため荒廃が進み、「③」を捨てていく習慣さえでき、それを目当てに「④」が集まってくるので、人々は「⑤」になると近寄りなくなった。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

教科書の手引きと連動した設問で読解が確かなものになります。

3 ①「同じ道」(208・5)、②「この局所」(208・5)が指している部分を、それぞれ本文中から抜き出さない。ただし、①は初めと終わりの八字ずつを記しなさい。

①									

4 「この『すれば』は、いつまでたっても、結局『すれば』であった。」(208・6)とは、どういうことか。適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 下人は、抽象的な考えを巡り続けるだけで、いつまでたってもそこから進めずにいるということ。
- イ 下人は、具体的な行動は考えついたものの、抽象的次元での勇氣が出ずにいるということ。
- ウ 下人は、抽象的次元での決意はついたものの、具体的な行動には踏み切れずにいるということ。
- エ 下人は、具体的な手段を選ばないことを肯定するものの、抽象的な思考も否定できないということ。

5 「一人の男」(209・4)とあるが、①誰のことか。また、②それがわかる部分を、本文中から十五字で抜き出さない。

①									

9 「この髪を抜いてな、……かつらにしようと思ったのじゃ。」(213・12)を受けて、下人の心情はどのように変化したか。次の文の空欄にあてはまる言葉を、本文中から抜き出さない。

- ・老婆の答えが存外、**①**なのに失望する。
- ↓憎悪の心と**②**を覚える。

①									

10 「なるほどな、死人の髪の毛を抜く……大目に見てくれるである。」(214・11)という老婆の主張についてまとめた次の文の空欄にあてはまる言葉を、二十五字以内で考えて答えなさい。

大学入試につながる力を意識した記述問題です。

- 「ある勇氣」(214・15)とはどのような勇氣か。適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 「悪」が自分にも備わっていたことを示す勇氣。
- イ 「悪」というものの本質的部分を見きわめる勇氣。
- エ 「悪」への嫌悪感を確実に選び取っていく勇氣。
- エ 「悪」を行うことを積極的に肯定する勇氣。

6 「ある強い感情」(210・9)について説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を、それぞれ指定された字数で本文中から抜き出し、初めと終わりの五字ずつを記しなさい。

①									

7 「ある強い感情」とはどのような感情か。本文中から抜き出さない。

8 「老婆の腕をつかんで、無理にそこへねじ倒した」(212・9)とき、下人の心情はどのように変化したか。次の文の空欄にあてはまる言葉を、本文中から抜き出さない。

- ・老婆の生死が自分の意志に**①**と意識した。
- ↓険しく燃えていた**②**が冷める。
- ↓安らかな得意と**③**を感じる。

①									

12 下人が「嘲るような声で念を押しした」(215・6)のはなぜか。その説明として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 老婆の言葉だけでは、自分を正当化できると思えなかったから。
- イ 老婆の言質を取って、それを悪用するつもりがあったから。
- ウ 生き延びるためには、老婆の了解を得る必要があったから。
- エ 行動を悟られないよう、老婆の気をそらす必要があったから。

13 本文の内容に合うものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 下人は老婆の発言によって悪の道に引きずり込まれ、さらにその最初の被害者が老婆であるという皮肉な展開となっている。
- イ 同時代に位置する語り手の存在を置き、入れ子構造を用いることで、文章をより客観的に表現することに成功している。
- ウ この時代特有の弱者のありようを、社会的弱者である下人者である老婆を否定的に差別し、暴力に訴えかける内容で表している。
- エ 下人は、死骸や得体のしれないものに恐怖心を抱きながら、なんとか生きていこうとする、どの時代にも普遍的に通じる人間のしたたかさや体現した存在である。

大学入試共通テストを意識した長文の選択肢問題です。

教科書と連動して身についた能力を確かめます。

- ✓ 振り返ろう
- 小説に描かれた場面や状況を把握することができた。
- 登場人物の心情を理解し、作品世界について自分の考えをもつことができた。

鶏鳴狗盜

▼ 史話の内容や構成を的確に捉え、登場人物の言動や心情を読み取る

語句・句法を確認しよう

【知識・技能】

1 次	の	語	句	の	本	文	中	で	の	読	み	を	歴	史	的	の	仮	名	遣	い	で	記	し	な	さ	い	
①	乃	チ																									
	(152)	(4)																									
2 次	の	語	句	の	本	文	中	で	の	意	味	を	記	し	な	さ	い										
①	見	ル																									
	(152)	(4)																									
②	偏	ッ																									
	(152)	(9)																									
③	臣																										
	(153)	(1)																									
④	尽	ッ																									
	(154)	(4)																									
⑤	服	ス																									
	(154)	(5)																									
⑥	出	ッ																									
	(153)	(6)																									
⑦	對	ッ																									
	(152)	(9)																									
⑧	更	ニ																									
	(152)	(8)																									
⑨	遂	ニ																									
	(154)	(2)																									
⑩	自	リ																									
	(154)	(5)																									
⑪	是																										
	(154)	(5)																									
⑫	已	ニ																									
	(153)	(9)																									
⑬	即	チ																									
	(153)	(5)																									
⑭	莫	シ																									
	(152)	(9)																									
⑮	囚	ヘ																									
	(152)	(5)																									

知識・技能に関する基礎的な練習問題をしっかりとそろえています。

3 次の句法の訳し方をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 願 A B C D
- ② 莫 A B C D
- ③ 能 A B C D
- ア するな。
- イ A B C D がない。
- ウ A B C D (すること) ができる。
- エ A B C D (する) 必要がある。
- オ A B C D (する) 必要がある。

4 「昭王乃止囚而欲殺之」(152・5)の「而」のはたらきとして適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 順接
- イ 逆接
- ウ 断定
- エ 強調

5 「孟嘗君使人抵昭王幸姫」(152・5)を書き下し文にし、使役の関係を明らかにして口語訳しなさい。

- ・ 書き下し文
- ・ 口語訳

4 「昭王釈孟嘗君」(153・4)とあるが、昭王はなぜ孟嘗君を釈放したのか。適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 孟嘗君がこの上なく貴重な狐白裘を昭王に献上したから。
- イ 孟嘗君が盗まれた狐白裘を取り戻してくれたから。
- ウ お気に入りの女性が孟嘗君から狐白裘を送られたから。
- エ お気に入りの女性が孟嘗君のためにとりなしたから。

5 「有能為鶏鳴。而鶏齊鳴」(154・1)とはどういうことか。省略されている言葉に注意して口語訳しなさい。

6 ①「遂発伝出」(154・2)、②「乃還」(154・3)の主語は誰か。それぞれ本文中から抜き出して答えなさい。(訓点は不要)

- ①
- ②

7 「賓客尽羞之」(54・4)について、「之」の内容を明らかにして口語訳しなさい。

教科書と連動して身についた能力を確かめられます。

振り返ろう
□ 史話の内容や構成を的確に捉え、登場人物の言動や心情を読み取ることができた

文章の理解を深めよう

1 次の「之」の中から、指している内容が異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 之 (152・5)
- イ 之 (153・8)
- ウ 之 (153・10)
- エ 之 (154・5・2文字目)

2 「孟嘗君患之、徧問客、莫能對」(152・9)の口語訳として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 孟嘗君は昭王に捕らえられたことを嘆き、客人たち全員に尋ねたが、うまく逃げる方法を答えられる者は誰もいなかった。
- イ 孟嘗君は狐白裘がないことを悲しみ、客人たち全員に尋ねたが、狐白裘を持っている者は誰もいなかった。
- ウ 孟嘗君は狐白裘がないことに困り、客人たち全員に尋ねたが、うまく打開策を答えられる者は誰もいなかった。
- エ 孟嘗君は幸姫に求婚されたことに戸惑い、客人たち全員に尋ねたが、うまく幸姫を連れ出す作戦を答えられる者は誰もいなかった。

3 「能為狗盜二者」(153・1)とはどのような人物のことか、説明しなさい。

言語文化について考える

ゴール

全体の構成を理解しよう

最初に教材の基本構造を押さえます。

教科書 P.46 ~ P.51
三崎亜記

目標

●現代の文学に親しむ

検印

漢字を確認しよう

知識・技能に関する能力を確かめます。

ゴール (初め〜48・14)	ある日「私」は、偶然通りかかった裏通りで横断幕を掲げた「ゴール」を発見する。「ゴール」にはアルバイトの「女の子」がいて、退屈そうに「ゴール」を守っていた。「女の子」の言葉によれば、「ゴール」は何のゴールかわからず、誰がいつゴールするのかわからない、来週には別の場所に移動するという。
ゴールを目指す人 (48・15〜50・6)	一週間後、「女の子」の言葉通り、件の「ゴール」は移動していて、跡形もなかった。そこへ一人の「男性」が現れ、「ここがゴールだ」と思い、歩き続けて来た」と言う。「男性」は、「かつてゴールであった場所」をしばらく見つけた後、新たなゴールを目指して再び歩き出した。
スタート (50・7〜終わり)	いつも通り、駅から会社へ向かって歩いてきた「私」は、先日の「男性」が通勤ラッシュとは無関係な方向に歩いているのに気付き、立ち止まる。次の瞬間、「私」は通勤の列からはじき出され、入り込んだ路地で、やる気のなさそうな女性の声で「はい、スタート」と告げられる。

ゴール

文章の理解を深めよう

文章の内容を捉え、物語の解釈の多様さを考えよう。

1 「女の子」(46・4)と「一人の男性」(49・5)の言動から感じられる印象を捉えよう。

1 「女の子」(46・4)の立場はどのようなものか。次の文の空欄にあてはまる語句を、本文中から抜き出さない。

横断幕の横で

というアルバ

イトを

からしている。

2 「バイト」(47・12)について、次の問いに答えなさい。

① アルバイト中の女の子は、どのような様子か。次の文の空欄にあてはまる語句を、本文中から抜き出さない。

a

に頬杖をつき、気だるそうで、小さく

b

をしている様子。

② 女の子のアルバイトに対する態度について、適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア アルバイト仲間が来なくて、退屈している態度。
- イ 仕事が忙しくて寝不足なので、疲れた態度。
- ウ 自分の仕事に誇りを持ち、いきいきとした態度。
- エ 自分の仕事に対する関心や、やる気のない態度。

教材の目標を示してつけたい力を明らかにしています。

3 「一人の男性」(49・5)について、次の問いに答えなさい。

① 「二人の男性」は何をしているか。本文中から十字で抜き出さない。

② 「二人の男性」は、どのような様子か。次の文の空欄にあてはまる語句を、本文中から抜き出さない。

男性の表情に

はなく、

b

様子。

4 「男性は鞆を抱え直した」(50・1)とあるが、この行動から男性のどのような思いが読み取れるか。次の文の空欄にあてはまる語句を、本文中から抜き出さない。

ゴールは移動してしまっていたが、

①

を指摘することが

②

のことであり、決意を新たにしている。

5 「ゴールを目指していた男性」(50・11)は、どのような人物として描かれているか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 通勤の流れを崩す人を背後から突き飛ばす人物。
- イ 他の人とは違うところを目指す人物。
- ウ ベルトコンベアーに乗せられたようにゴールを目指す人物。
- エ 通勤する人々の従順な列に並ぶ人物。

2 「はい、スタート」(51・1)という「声」(51・2)は「私」にとって何を意味しているのだろうか。考えをまとめよう。

1 「ゴール」(47・1)について、次の問いに答えなさい。

① 「ゴール」はどのような場所にあったか。本文中から一文で抜き出し、初めの五字を記しなさい。

□□□□□

② 「ゴール」について、どのようなことがわかっているか。次の文の空欄にあてはまる語句を、本文中から抜き出しなさい。

横断幕は用意されているが、

□□□□□^a

かわ

からない上に、ゴールの場所が

□□□□□^b

という聞

いたこともないものだということ。

2 「路地へと入り込んでしまった」(50・13)のはなぜか。次の文の空欄にあてはまる語句を、本文中から抜き出しなさい。

ゴールを目指していた男性が、

□□□□□^①

に歩いていくのに気付いて立ち止まったら、

□□□□□^②

から。

3 「はい、スタート」(51・1)とあるが、「私」がどのようなこと象徴しているか。適切なものを次の中から番号で答えなさい。

ア いつゴールするかわからない誰かを、ゴールですっと待てる立場になったこと。

イ 通勤する人々とおなじように、ゴールを目指すという俾せられ、辿り着くまで歩き続ける立場になったこと。

ウ 駅から会社へ向かう通勤ラッシュの流れに毎日乗り続けはならない立場になったこと。

エ 従順な列から外れて、他の人と違った道に入り込み、一人てゴールを目指して歩く立場になったこと。

オ 従順な列から外れて、他の人と違った道に入り込み、一人てゴールを目指して歩く立場になったこと。

大学入試共通テストを意識した長文の選択肢問題です。

4 「ゴール」とはどのようなものか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 他人には理解されないが、個人にとって愉快なもの。

イ 困難はつきまとうが、必ず個人を待っていてくれるもの。

ウ 個人が自分の意見をもつことでしか、到達できないもの。

エ たとえ辿り着けなくても、目指さざるをえないもの。

□

言語文化の継承と創造

伊勢物語

芥川 / 筒井筒

教科書 P.96 ~ P.101

目標

●物語における心情表現の特徴を捉える

検印

【芥川】
全体の構成を理解しよう

教材の基本構造を捉えることから始めています。

男と女の逃避行 (97・1〜終わり)	女を盗み出した男 (初め〜97・1)
男：翌朝、女がいないことに気づき、嘆く。 ← 女：鬼に一口で食べられる。 ← 男：女を蔵の中へ押し入れ、戸口を守る。	男：長年にわたり求婚し続けてきた女（高貴な姫君）を盗み出す。 ← 女：草の上の光る露を見て、「かれは何ぞ。」と問う。 男：無言（早く逃げたいという必死の思い）。 ← 男：天候や行程に追い詰められる。

文章の理解を深めよう

物語に表れた心情表現について、考えを深めよう。

1 女に「かれは何ぞ。」(97・1)と問いかけられ、男はどういう行動をとったか。次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 女の声が聞こえなかったため、問いかけには答えなかった。
- イ 暗い中を逃げるのに必死だったので、無言でいた。
- ウ 問いかけの意味がわからなかったため、考えこんだ。
- エ 女が白玉を知っていることに驚いて、黙りこんだ。

2 「白玉か：」(97・11)の和歌には、「男」のどのような気持ちが表れているか。次の1・2の問いに答えなさい。

1 「白玉か何ぞと人の問ひし時」とは、どういうことか。次の空欄にあてはまる語句を、それぞれ本文中から抜き出しなさい。

・草の上の [] を [] ですかと [] が聞いたとき。

2 この歌には、「男」のどのような気持ちがこめられているか。次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア やっと手に入れた女に逃げられるくらいなら、自分で女を消してしまえばよかった。
- イ 女に求婚を断られるくらいなら、自分の恋心を消してしまえばよかった。
- ウ やっと手に入れた女に裏切られるくらいなら、女との思い出を消してしまえばよかった。

教材の目標を示してつきたい力を明らかにしています。

文法を確認しよう

エ 女がいない悲しみを味わうくらいなら、自分も死んでしまえばよかった。

1 次の線部の助動詞について、a 終止形、b 活用形を書き、c 意味をあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 夜も更けにければ。 a [] b [] c []
- ② え聞かざりけり。 a [] b [] c []

2 次の線部の助詞の意味として適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 女のえ得まじかりけるを
- ② 人の問ひし時

ア 主格 イ 同格 ウ 比較

3 次の線部の意味として適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 「かれは何ぞ。」となむ男に問ひける。
 - ② はや夜も明けなむと思ひつつ
- ア 添加の副助詞 イ 強意の係助詞 ウ 願望の終助詞

語句を確認しよう

1 次の線部の読みを現代仮名遣いの平仮名で書きなさい。

- ① からうじて []
- ② 率て行きければ、 []
- 2 次の語句の意味を調べなさい。
- ① えゝ打消 []
- ② わたる []
- ③ 率る []
- ④ いみじ []
- ⑤ いたし []
- ⑥ やうやう []
- ⑦ かひなし []

知識・技能に関する能力を確かめます。